NPO法人
vol.12

くまもと未来ネット通信

Kumamoto Mirai Net Working Report 2024-2025

※記事のSDGs指標は代表的なものを表示、他にも多くが該当します。

今18期も、くまもと未来ネットへの地下水に関しての視察、学習会の依頼が多数ありました。時節は米（農業）問題の認識も深まり、今後、地下水の量をどう確保していくか、また、汚染などからどう守っていくのか、情報の公開と共有、対策と実行が求められています。

■政治学者、目加田氏の取材を受け、新聞記事に（2/28）

地下水に関して、政治学者で中央大学教授の目加田説子氏の取材依頼を受けました。ちょうど「豊かな地下水を育むネットワーク」の懇親会がありゲストとして参加してもらい、翌日は午前中に現場（冬季湛水（陣内地区）～TSMCやSONYの工場群～湧水地帯として嘉島の浮島さん）を視察していただき、午後から関係者でのヒアリングが行われました。

後日（3/16）目加田氏が持つ東京新聞枠「時代を読む」で取材が記事になりました。（井上・大住）

https://www.tokyo-np.co.jp/article/392083



2025年（令和7年）3月16日（日曜日） 電子版 社説・論説 4

時代を読む

コメと地下水と半導体

中央大学教授 目加田説子

2025.3.16

■地下水について、生活クラブ生協（機関誌）の取材を受け現地案内（4/30）

月刊誌「生活と自治」は生活クラブ生協（北海道、東北、関東、近畿までの範囲）の機関誌です。先ずは、現地案内を、地下水の上流から、立野下の瀬田地区の冬季湛水～白川中流域が見渡せる場所～TSMC／SONY～地下水バイパスの上を通り、嘉島の湧水プールと浮島さんへ。

その後、昼食後に事務所でのご説明と質問への応答を行いました。打合せ後に、下江津湖、上江津湖（湧水風景）を案内し、説明に用いた資料やWeb Siteを情報提供。後日、4ページの特集として8月号へ掲載されました。「100万人の飲み水は守れるか。半導体工場進出と地下水」（井上）

https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=1000005944



■YWCAユースプログラム「私たちの生活と環境」で地下水の話を（7/12）

韓国の3つの地方都市のYWCAと熊本YWCA、両国のユースが共通話題について学んで意見交換等を行い交流を深めていくプログラムで、熊本の地下水についての講義の依頼がありました。テーマは「私たちの生活と環境」。

7/12（土）21:00～（夜になりましたが）プレゼン資料「熊本の水環境_持続可能な水循環に生かされている私たち2025」を作成（編集）し、オンラインで講義と質疑応答を実施しました。

持続可能とは"循環を持続する"事、具体例として水の循環と地下水の問題を阿蘇の源流から説明しました。皆さんの水道水がどこから来ているのか、その仕組みや資源は維持されているのか？を宿題としました。（井上）



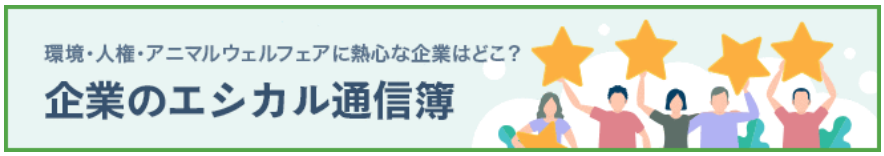
https://kumamoto-ywca.jimdofree.com/

■企業のエシカル通信簿、トイレタリー結果発表



消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク（SSRC）が実施している「企業のエシカル通信簿」プロジェクトの2024年度調査（第８回調査）では、2017年度の調査対象企業を含めた、国内トイレタリー（シャンプーや石鹸などのパーソナルケア商品）大手9社（外資系2社を含む）を調査しました。

調査項目は、「サステナビリティ体制」「消費者の保護・支援」「人権・労働」「社会・社会貢献」「平和・非暴力」「アニマルウェルフェア」「環境」の7項目です。今年度の調査結果では、9社のうち8社から回答があり、昨今開示が求められるサステナビリティ体制や消費者の保護・支援、人権・労働分野についてはおおよそ取り組みが見られるものの、環境においてはまだバラつきがあります。また、平和・非暴力やアニマルウェルフェアについては取り組みがほとんど見られませんでした。今後は、環境においては認証パーム油の利用実績の公表や、環境に有害な化学物質のリスト見直し、平和・非暴力、アニマルウェルフェアの観点での取り組みを期待します。（宮瀬）



https://kumamoto-mirai.com/regional-common-business/145-8-2024.html

■竹筒アライグマセンサーの製作や講習会の開催



九州北部の各県（長崎・佐賀・福岡・大分）では外来生物アライグマによる農業被害が拡大しています。県内でも捕獲や出没の確認情報が確実に増加しており、熊本県は「外来生物防除の指針」を策定し防除対策の取り組みを進めています。

くまもと未来ネットは、今年も県内各地を巡りながらアライグマの生息（進出）状況を調査し、必要な講習や周知活動を行いました。インターン生を受け入れ、竹筒アライグマセンサーの作成、講習会には準備段階から経験をしてもらいました。インターン生が活動のプレゼン資料を作成し、報告会で発表されています。（歌岡）



■インターン生、フェアトレードの学びと交流



ドットジェイピーより、２名のインターン生を受け入れました。フェアトレードを学ぶ機会として、映画の試写会、他県の学生との交流、フェアトレード勉強会の参加などの機会を提供しました。（8/18から～10/30）本人たちの希望で10月末まで延長しました。

資料整理を主な課題とし、学生の意見を取入れ、年代ごとに資料を分け、整理・保管を進めました。（明石）



❤以下は参加インターン生の感想です❤

◆今までフェアトレードといえば、児童労働などのためだと思っていたが、環境についても考えられている取り組みだということを初めて知った

◆フェアトレードの支援に関わる他の団体の取り組みを知ることができた

◆大学での活動は地域での活動に比べると閉じた環境となるが、学園祭などの行事や学内販売を活用することで、学生をターゲットに効果的な活動ができると感じた◆フェアトレード大学の存在についても初めて知り、特に企業との連携が重要な要素であることを理解した◆フェアトレード商品を多くの人に届けるためには、感情に訴えるだけではなく商品が持つ魅力や価値を伝えることも欠かせないと学んだ◆フェアトレード商品への理解を深め、その良さを自分の言葉で周囲に伝えたいと強く感じた。



■給水スポットの設置と江津湖周辺の湧水状況確認（9/16）



「水Do!（スイドゥ）」は、ペットボトルなどの使い捨て飲料容器の使用を減らし、水道水の飲用、水の域産域消、を推進することにより、環境負荷の低減と地域の水資源保全、人にやさしく潤いのあるまちづくりを促進しています。（https://www.refill-japan.org/）

このところの気候変動で街は危険な暑さですが、飲料水を得られる場所は少なく、防災という面でも大切な活動になっています。未来ネットは地域団体として参加。今期は、インターンを進めているNPO法人ドットジェイピー（https://www.dot-jp.or.jp/）の学生さんと、熊本市の給水スポット再調査やアーケード街「健軍商店街」に給水スポットを設置する活動を行いました。（大住・井上）
（https://kumamoto-mirai.com/biodiversity-project/156-2025-09-18-07-05-20.html）

◆江津湖の湧水（動植物園南門前）を確認し、健軍商店街へ



湧水を前に下江津湖の風景を見ると、熊本市はとても環境や水資源に恵まれていることが分かります。

健軍商店街の中のお茶屋さん「おちゃいち山陽堂さん」を訪ねました。快く対応いただき、健軍商店街振興組合の事務所のスタッフの方々へ主旨をご説明しました。給水スポット展開へのご賛同を得て、この健軍商店街振興組合さんと、タクシーのタクルーさんで共同運営されている、健軍まちなか図書室「よって館ね」が、”給水スポット”になりました。また、お茶屋さん「おちゃいち山陽堂さん」もご賛同をいただき、それぞれの施設入り口付近にインターン生にて”給水スポット”を示すシールが貼られました。
（https://kengunshoutengai.hp.peraichi.com/top）



◆嘉島や上江津湖の湧水状況を確認、「中無田熊野座神社の銘水」を給水スポットへ

嘉島の浮島さん（浮島熊野坐神社）へ。説明では、ここの湧水量は15万トン（日量）との事です。この上流には川はなく、ここを起点に流れ出しています。さらに、近くの天然湧水プールへ。ここもどん詰まりで上流はありませんが、プールを維持するほどの湧水が湧き、夏季には子供たちでにぎわっています。
（https://kumamoto-museum.net/blog/archives/chiiki/886）



上江津湖の湧水地帯は熊本市総合体育館の駐車場から歩いて観ることが出来ます。駐車場横の”じゃぶじゃぶ池”では、大きな岩の表面から水が噴き出ている驚きの現象や、至る所で地下からの噴水を見ることが出来ます。上流のゾウさんプール（水前寺公園方向）に上江津湖湧水群を観て歩き、湧水量の多さ、恵まれた環境、多くの命に感動を覚えます。



熊本市の中心部に存在する江津湖の湧水量は、日量で54万トン（令和５年度・くまもと地下水財団）の膨大な量です。
（https://kumamotogwf.or.jp/cms/topics/report/6613407ce4b0f4325ed8107c）

沼山津地区に古くからある湧水を推薦いただき、管理されている中無田熊野座神社の総代さんを訪ねました。長年、地域の方々で清掃を続けて維持され、3つの湧水管と洗い場がキレイに整備されていました。給水スポット展開へのご賛同を得て、総代さんとインターン生で”給水スポット”を示すシールが貼られました。
（https://www.city.kumamoto.jp/kankyo/kiji00320624/index.html）



■九州電力の出力制御について



　くまもと未来ネットでは、電力会社の出力制御を問題視してきました。様々な問題のある原子力発電や石炭火力発電を優先し、再生可能エネルギーを制御するのは、環境負荷として、また、SDGs（持続可能な社会）としても問題があると考えています。

　当会が持つ太陽光発電（低圧）における、18期一年間の制御割合は、約11%となりました。発電量は、みふね発電所が33,870（kWh）で火の君発電所が44,875（kWh）でしたので、両者合計の11% 約8,662（kWh）が捨てられた事になります。この問題を今後も注視して行きます。



　両設備は10年を越えましたので、今後の設備交換や廃棄時の処理費用に備えて、発電収益からの積立てを開始します。（井上）

■断捨離を進めています

　環境学習で使用していた古い電子機器類の整理と処分を行いました。環境関係の蔵書を役立てるため、地域の図書館等への寄贈を進めています。ご要望があれば、ご連絡をお願い致します。（事務局）

■編集後記（事務局の活動から）

◆浜線バイパス近くの新事務所へ毎週木曜日に通勤しています。家賃は上がりましたが、コンパクトで機能的な事務所になりました。また、事務局は宮瀬理事と私（井上）の2名体制で継続しています。

◆所有する太陽光発電施設の発電収益から、教育（未来ネット学習会）を委託したいと考えています。

◆私たちの活動の原資は、ご支援していただく方々の会費や寄付、事業毎に申請して得られる助成金などです。会員の皆様に年会費でお支え頂いておりますが、会員の方々の高齢化もあり年々減少して来ました。一方で、目先の収益からの持続可能でない「開発」問題は続いています。簡易なWebからの寄付が出来るようになりましたので、ご支援をいただければ幸いです。（下のQRコードより）

ご支援･ご協力をありがとうございます　（ 2024.10～2025.9 ）

【正会員】

（個人）手嶋　敬、中村潤三、鎌田　聡、小椋清市、梅原尚佳、吉住　眞、田尻和子、松野信夫、中元啓夫、長尾圭祐、鳥崎一郎、田上辰也、山口久臣、大住和子、歌岡宏信、中地重晴、明石祥子

（法人･団体）（医）原武会 北部病院、（医）相禮会山下歯科　（維持会員）原育美、宮北隆志、宮瀬美津子、井上智

【賛助会員】

（個人）永村一泰、田中利和、草野龍二、愛甲三朗、菊水正博、備後由喜江、中村博子、真次　寛、沼津秀樹、清田真理子、田北成樹、中田哲也、立山ちづ子、松生由紀子、内田敬介、坂本講一、富山善一

（法人･団体）（有）熊本装新、よもぎ薬局、白井工業（株）、（税）近代経営
熊本県労働者福祉協議会、（公財）阿蘇グリーンストック

【ご寄付】（個人）目加田説子、草野龍二、宮瀬美津子、井上　智　（団体）生活クラブ連合　※敬称は省略しております

寄付・会費等のお支払いは以下の口座へよろしくお願い致します。
肥後銀行　味噌天神支店　普通預金　1495574　NPO法人くまもと未来ネット
郵便振替　記号01930-4　番号60756　NPO法人くまもと未来ネット

QRコード

【発行】 2024年11月

NPO法人 くまもと未来ネット Kumamoto Mirai Net
〒862-0962
熊本県熊本市南区田迎5丁目7-6　EL.SOCIO（エルソシオ）ビル
TEL 096-202-2525（変わりました）/ FAX 096-200-6395
E-mail：home@kumamoto-mirai.com
Web Site： https://kumamoto-mirai.com

（移転のお知らせ）https://kumamoto-mirai.com/news/129-2024-10-07-04-55-27.html

※通信のPDF配信を希望される方は、E-mailにて事務局までご連絡をお願い致します。